



# みしま中央こども園 経営方針

①「なりたい自分になれる」みしま中央こども園

## ②朝起きたら

### 「早くみしま中央こども園に行きたい」と思う子どもの育成

③「かわいい子だから、かわいがるのではない。かわいがられるから、かわいい子になる」  
(児童精神科医・佐々木正美氏)

大切にしたい5つの柱「非認知能力の育成」「豊かな出会いの提供」「遊びを中核とした活動の展開」「愛着形成」  
「その子の言動や表情の背景には、必ずその子なりの理由がある、という子ども観、指導観」



## ④非認知能力の育成



豊かな人生のために必要な力「非認知能力」(今世界が注目している力です)  
「自尊心、自制心、協調性、共感性、忍耐力、自己主張力、がんばる力」など

### 【非認知能力育成のポイント】

- ありのままの子どもの姿を肯定的に受け止める(安心感の積み重ね)
- 子どものやりたいことを尊重する(満足するまで没頭させる)
- 指示せずに子どもに自由にさせる(大人のモノサシで子どもを誘導しない)
- 結果よりも努力をほめる(〇〇をがんばったね)などなど

※園では「遊び」を通して非認知能力の育成に努めています。



## ⑤豊かな出会いの提供

## ⑥遊びを中核とした活動の展開

自律・協同の心、豊かな感性等の育成 【卒園までに育てたい10の姿】 遊びは発達の基礎を培う

- 運動会、遠足、発表会など
- ピザ窯でのピザ作り体験
- 1,2キッズ(運動遊び)
- Hello! フレンズ(英語遊び)
- レッツリトミック(音楽遊び)

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり
- ⑧数量等への関心等
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

- 知識・技能・思考力等の基礎
- 園児と職員との信頼関係
- 適切な園児への関わり
- 必要な体験が得られる環境に留意し、ねらいや方策を明確にした活動を展開します。



## ⑦愛着形成

## ⑧「その子の言動や表情の背景には必ずその子なりの理由がある」

「抱っこからすべては始まる」(精神科医・岡田尊司氏)

園として大切にしたい子ども観、指導観

- 愛着とは「特定の人との情緒的な関係」
- 保育者は子どもの「安心安全基地」であること  
振り返れば必ず自分を見守ってくれる人がいる。
- 子どもに対する「応答的な関わり」  
子どもの言動を認め共感し、思いを汲み取り答える。
- 愛着形成により「自律性」(一人でいられる能力)が育まれ、自信、自己肯定感を形成していく。
- 愛着形成は自他の心の理解能力、共感性の発達に寄与している。

- 「雨の朝、登園してきて花壇のお花に水やりをしている子ども」になんて声をかけますか? 「何やっているの!」ですか。「お花のことが気になるんだね、そんなあなたのやさしさが大好きだよ」ですか。子どもがどのような思い、願い、不安を抱いているのか、敏感にキャッチできる職員集団を目指します。



## ⑨～合言葉「共に子育てを楽しみましょう」～

⑩育てたい「みしまっ子」像(幼保小中連携)「自他のよさを認め合い、思いやりの心をもつみしまっ子」「なりたい自分に向けて、自ら挑戦するみしまっ子」

